

1. Report No. UMTRI-2015-12		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle 自動運転車両での乗り物酔い				5. Report Date April 2015	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Michael Sivak and Brandon Schoettle				8. Performing Organization Report No. UMTRI-2015-12	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes Information about Sustainable Worldwide Transportation is available at http://www.umich.edu/~umtriswt .					
16. Abstract 自動運転車両での乗り物酔いは、従来の車両よりも問題となることが予想される。その理由は、乗り物酔いに影響する主要な 3 つの要因（平衡感覚と視覚入力との矛盾、動きの方向を予想することができないこと、動きの方向を制御できないこと。）が自動運転車両では高まるためである。しかし、乗り物酔いの頻度とひどさは、運転の代わりに人が熱中している行動・作業に影響される。このレポートでは、米国、中国、インド、日本、イギリスとオーストラリアにおける、完全な自動運転車両で各個人が行う活動についての最近の研究結果を元に、完全な自動運転車両において予想される、乗り物酔いの頻度とひどさを推定する。結果、たとえば、完全な自動運転車両に乗った場合、アメリカの大人の 6%-10%が常にまたは、しばしば、ある程度の乗り物酔いを経験することが予想される。同様に、完全な自動運転車両に乗るアメリカの大人の 6%-12%は、ときに中程度もしくはひどい乗り物酔いを経験することが予想される。他の 5 つの国についての推定結果も提示する。 このレポートは、完全な自動運転車両での乗り物酔いの頻度とひどさを最小にする方法に関する議論で締めくくる。					
17. Key Words 自動運転車両、無人車両、乗り物酔い、頻度、ひどさ、対策				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 13	22. Price